

## 創立20周年を 迎えた慶大・管理工学科

昭和34年に創立された慶応義塾大学管理工学科はわが国の大学において専門的OR教育を始めた最初の学科のひとつであります。昭和54年で創立20周年を迎え、昨年11月10日その記念行事が同校日吉校舎において行なわれました。同科は設立以来約1700名の卒業生を輩出し、そのうち修士389名、博士58名を数えるに至っています。現在同科は教員21名、学部480名、修士課程80名、博士課程15名の学生をもつに至っております。

記念行事を計画するにあたって、管理技術導入はなかなか時代に設立され減量経営がさげばれている今日に至る20年間の活動の反省と将来への展望を得ることを主眼にして、単なる同窓会にならないように努めました。そのため、卒業生の活躍状況に関する調査を事前に行ない当日は卒業生によるシンポジウムとパネルディスカッションを計画しました。創立者山内二郎先生は病後にもかかわらず、全プログラムを通して出席され、熱心に卒業生の成長した姿を見守っておられました。

調査結果の一部を図1、図2に示しますと、広範囲に

またがる業種において活躍している卒業生の大半がスタッフ的な業務に従事していることがわかります。

シンポジウムにおいては、伊藤文夫氏（日産自動車）による「工場の人間的要素と管理技術」、川瀬俊一氏（日立ソフトウェア）による「ソフトウェア開発の生産管理」、衣川佳克氏（東亜燃料）による「石油業における需給計画」と題する講演があり、人間的要素に関する理解の必要性、自主的改善活動の効果の重要性が指摘されソフトウェアというアウトプットを生み出すための生産、品質、納期管理の一例が示され、トップマネジメントスタッフの活動例が示されました。「管理工学科への提言」と題したパネルディスカッションでは、吉原治彦氏（東レ）、西村俊昭氏（味の素ゼネラルフーズ）、小美濃代喜氏（Y Eデータ）、内野博司氏（日立）の諸氏から自らの経験にもとづく提言がなされました。在学中に身についたもので実社会で役に立ったものは、手法そのものよりも考え方であったこと、問題発見および解決能力育成、語学教育の徹底、哲学的思考の育成の重要性が指摘されました。また、管理工学は学部教育より大学院教育を目指すべきではないかとの指摘もありました。フォーからの発言も多数あり、続いて開かれたパーティーにおいても、現教員を卒業生がとり囲むようにして熱心な議論が続けられました。現在カリキュラムを検討中の同科教員にとっては得るところの大きな会合となりました。しかし、議論は百出の観があり、中には矛盾する主張もかなりあり、大学側の主体性の重要性をかえって知

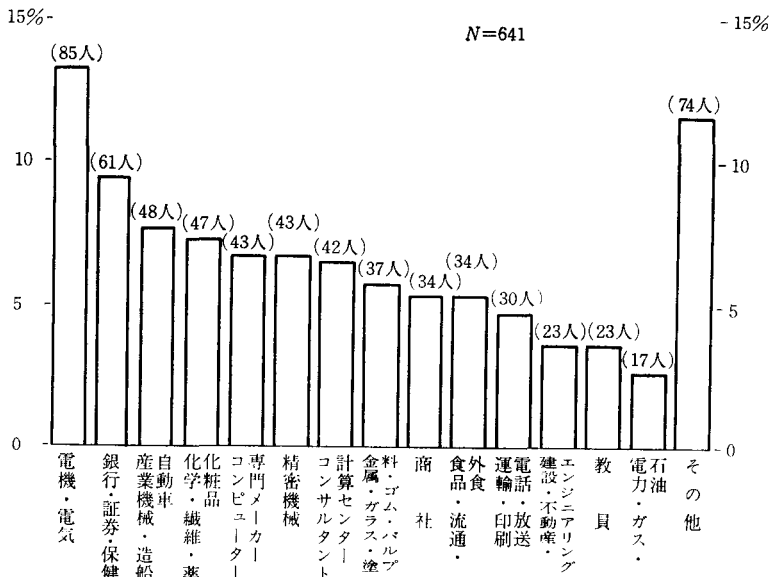
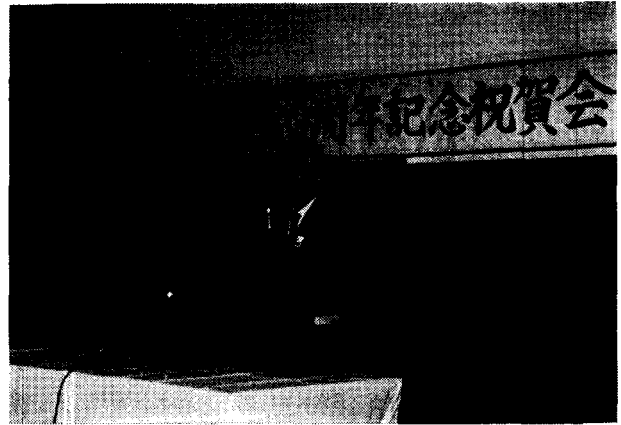


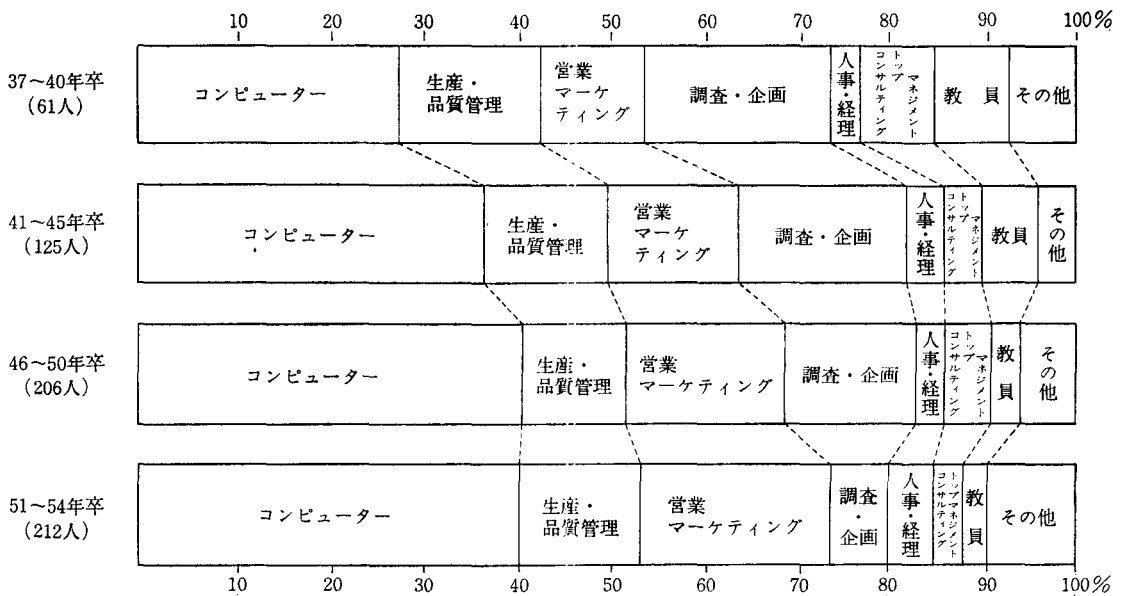
図1 管理工学科卒業生の業種別勤務先現状

らされる結果になったことも事実であります。

パーティーには卒業生 200 名と多数の現旧来客講師および現旧教職員が出席し、山内先生の創立当時の思い出話をはじめとして、来賓各位の祝詞をいただき、40才に近づいた1期生のうすくなった頭がたのもしく光る会場に楽しい歓談の風景がみられました。(K)



講演中の山内二郎先生



- コンピューター……………システム・エンジニア, システムアナリスト, ソフトウェア/システム開発マニュアル作成, 各種業務のコンピューター化, オペレーション, 機種選定
- 生産・品質管理……………在庫・工程・物流管理, I E, 合理化, 標準化, 作業管理, 品質保証, プロジェクト管理, コスト低減, 受注調整
- 営業・マーケティング…販売, 販売効率の改善, アフターサービス, 銀行の窓口・融資業務, 広告・宣伝計画, 輸出入業務
- 調査・企画……………経営計画, 戦略計画, 総合・商品企画, 調査・予測, 予算管理
- 人事・経理……………人事管理, 教育担当, 労務, 製品原価計算, 経理分析, 財務諸表作成, 財務・資金計画
- コンサルティング……………計算機システムのコンサルティング, 経営コンサルティング, システムサポート, I E, トップマネジメント PM, QCなどのコンサルティング, 経営管理
- 教員……………高校教師, 大学教員
- その他……………記者, 編集, 司法書士, 市役所, 秘書, 自営商店

図 2 管理工学科卒業生の担当業務の現状 N=604